

京都洛柿庵からのシーズン報

らくしあんたいむず

今期一押し!

夏の新作

2019 夏号



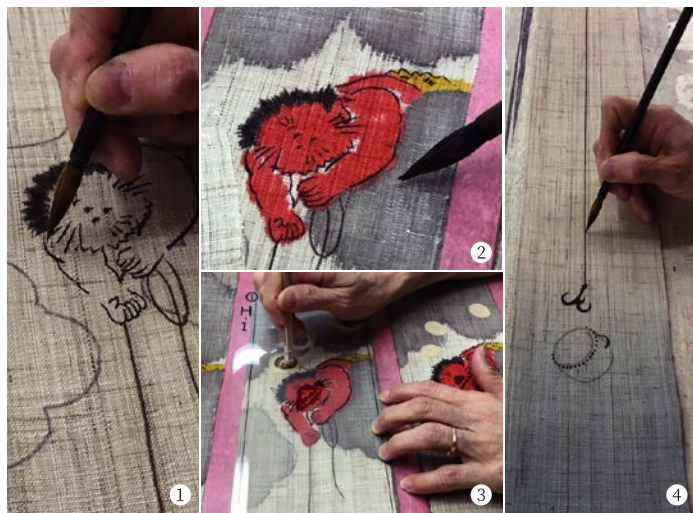
禍ごとを遠ざける一夏の雷除けの護符

Ts-719
細タペストリー

かみなりこう たいこつり
「雷公の太鼓釣り」

大津絵十種の画題の1つ《雷公の太鼓釣り》を題材にした、Ts-497細タペストリー「たいこつり」を、この度リニューアルいたしました。デザインを少し変えた他、染め方も筆描きを取り入れるなど、より味わいある表現に変更しました。

落としてしまった太鼓を慌てて釣り上げようとする雷公。その表情をひょうきんに描いて、心和む1枚に仕上げました。



繊細な線描き...①④や、にじみ・ぼかし...②を筆描きでやわらかく表現。雷公の鼻や口、太鼓は刷り込み技法でくっきりと際立たせています。...③

大津絵とは



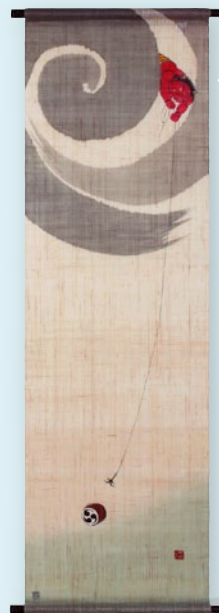
近江(滋賀県)の追分あたりで生まれ、盛んに描かれた民画。東海道を歩く旅人達の土産物として人気を博しました。

江戸時代のキリシタン弾圧という社会背景も手伝って、初めは仏画として広まりましたが、後に教訓的・風刺的な意味を持たせた世俗画へと変わっていきました。

鮮やかな色彩、のびのびとした線描が特徴で、神仏や人、動物などがユーモラスなタッチで描かれています。

↑ 新作「雷公の太鼓釣り」とどう違う? ↓

新旧
鬼くらべ



「Ts-193」タペストリー「雷の太鼓釣り」



「Ts-497」細タペストリー「たいこつり」

どこから親しみを感じてしまう雷様や、雲、太鼓は全て筆描き。その繊細で味わいのある表現が、のびやかな構図の中で生き生きとした躍動感を与えています。約10年間ロングセラーを続ける京都洛柿庵の人気商品の1つ。

『刷り込み』という手法を用いて雷様を染めています。すっきりとデザイン化した線と色の構成で力強い印象があり、強面でもちょっと面白みのある雷様の表情が目を引きます。(現在は廃盤品となっております。)

京都洛柿庵の縁起のいいもの

金魚

せいぞろい

今期夏、金魚の柄のアイテムが3種新登場です。
夏の風物詩として古くから日本人に愛されてきた金魚。
昨今ではアクアリウムでの多様な楽しみ方が普及し、
愛好家が増えているそうです。

京都洛柿庵でも金魚柄は人気が高く、ロングセラーを続けている
商品も多数ございます。染めの表現方法も様々に、上品なものから
可愛いものまで、色々な金魚アイテムを取り揃えております。

今年の夏は金魚の柄ののれんやタペストリーで
風流な日本の夏を楽しんでみるのはいかがでしょうか？



新作 T-716 手描きタペストリー
「金魚鉢」



ロングセラー
N-172 のれん「水玉金魚」



新作 RJN-021 洛粋三連手描きのれん「遊金魚」



新作 Ts-720 細タペストリー「金魚すくい」



ロングセラー
Z-032
ミニ木枠タペストリー
「金魚」



ロングセラー
Z-068 ミニ屏風四連「金魚」

らくしあん豆ちしき

金魚と金運

金色ではないのに、なぜか「金魚」という名前。
英語でもGoldfishと言います。
金魚発祥の地、中国の言語では「金余(金が余る)」「
金如(お金を意のままに)」という言葉と同じ発音で
あることから、「金魚」は金運をもたらす縁起のよい
ものとして知られています。

金魚に光があたると確かにキラキラ金色に輝いて
見えることがあります。名前のみならず、その美しい
姿にも金運が宿っているそうです。



ロングセラー
RJT-004 洛粋タペストリー「金魚」



Tm-618 豆タペストリー
「涼金魚」

Ts-615 細タペストリー「金魚」

